Creative Enzymes®

モルモット肝臓由来トランスグルタミナーゼ、組換え

Cat. No. NATE-1247

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	モルモット肝臓からのトランスグルタミナーゼは、691のアミノ酸残基からなる単一のポリペプチド鎖で構成されています。6つの潜在的な糖鎖付加部位（Asn-X-SerまたはAsn-X-Thr）がありますが、糖鎖付加はされていません。分子量は約76.6 kDaです。カルシウム依存性であり、いくつかのカルシウム結合部位があります。この酵素は、カルシウムの存在下でヨードアセタミドとN-エチルマレイミドによって阻害されます。小分子量のアミンをタンパク質のγ-グルタミン部位に取り込む反□を触媒します。小分子量のアミンが存在しない場合、タンパク質の交差結合を触媒し、γ-グルタミル-ε-リジン側鎖ペプチドの形成を引き起こします。肝臓トランスグルタミナーゼは非酵素性の酵素です。
用途	トランスグルタミナーゼは、ハンチントン病やアルツハイマー病などの疾患におけるトランスグルタミナーゼの役割を完全に特定するための定量的アッセイを改善する研究に使用されました。また、トランスグルタミナーゼは、トランスグルタミナーゼ活性のための非放射性ドットブロットアッセイを開発する研究にも使用されました。
別名	トランスグルタミナーゼ; EC 2.3.2.13; 80146-85-6; トランスグルタミナーゼ; ファクター XIIIa; フィブリノリガーゼ; フィブリン安定化因子; グルタミニルペプチド γ-グルタミル転移酵素; ポリアミン・トランスグルタミナーゼ; 組織トランスグルタミナーゼ; R-グルタミニルペプチド:アミン γ-グルタミル転移酵素; タンパク質-グルタミン γ-グルタミル転移酵素

製品情報

種	モルモットの肝臓
由来	Sf9細胞
形態	5.0 mM トリス、pH 7.5、0.5 mM DTE および 1 mM CaCl2 からの凍結乾燥粉末
CAS登□番号	80146-85-6
活性	> 1.5 ユニット/ mg
緩衝液	50 mM Tris、pH 7.6で粉末を再懸濁してください。
単位定義	1ユニットは、pH 6.0、37 °CでNα-Z-Gln-Glyとヒドロキシルアミンから1.0 µmoleのヒドロキサミンを1分あたり生成する触媒作用を持ちます。（L-グルタミン酸γ-モノヒドロキサミンが標準です。）

保管・発送情報

保存方法	-20°Cで